

- 問1 世界の海上交通の要所であるスエズ運河の地理的特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- エジプトに位置する運河で、地中海とインド洋を直接繋ぐことにより、ユーラシア大陸を横断する手間を省いた。
 - トルコに位置する海峡を利用した運河で、黒海と地中海を繋ぐことにより、ヨーロッパ内陸部への輸送を可能にした。
 - パナマに位置する運河で、大西洋と太平洋を繋ぐことにより、南アメリカ大陸を回る航路の短縮を可能にした。
 - エジプトに位置する運河で、地中海と紅海を繋ぐことにより、アフリカ大陸を大きく回る航路の短縮を可能にした。
- 問2 北アフリカの地中海沿岸に位置する都市の統計において、気温が7月ごろにピークを迎え、6月から8月の降水量が極端に少なく、冬の時期に一定の降水が見られる気候が確認されました。この都市で見られる農業の特色として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- 降水量が極めて少なく樹木が育たないため、わずかな草が生える地域で羊の放牧が行われている。
 - 夏の豊富な降水を利用して、平野部を中心に稲作が大規模に行われている。
 - 一年を通して高温多湿であるため、天然ゴムや 카카오 のプランテーションが作られている。
 - 夏の乾燥に強いオリーブやぶどう、オレンジなどの果物栽培が盛んに行われている。
- 問3 ウガンダにおける2004年から2018年の米の生産状況について、収穫面積は約9万ヘクタール前後でほぼ横ばいである一方、生産量は約12.1万トンから約24.6万トンへと約2倍に増加しています。このデータから読み取れる、ウガンダの農業における変化として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- 気候変動の影響で、収穫面積あたりの収穫量が減少した
 - 土地あたりの生産性が向上した
 - 収穫面積の大幅な拡大により増産に成功した
 - 米から他の作物への転換が進み、収穫面積が減少した
- 問4 サバナ気候に見られる「自然環境」と、それに関連する「観光業」の仕組みについての説明として、背景や因果関係が正しく述べられているものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- 乾燥した気候が続くため、森林が育たず砂漠化が進んでいるが、その過酷な環境を体験するアドベンチャーツアーが人気を集めている。
 - 一年中高温多湿であるため、多様な植物が生い茂るジャングルが形成され、貴重な熱帯の鳥類を観察する観光施設が整備されている。
 - 短い夏にだけ草が成長するツンドラ地帯であり、トナカイなどの家畜とともに移動する遊牧民の生活を見学するツアーが中心である。
 - 雨季と乾季という周期的な降雨の変化によって広大な草原が維持され、そこを餌場とする野生動物が集まるため、野生動物観察を目的とした観光が成立している。
- 問5 コートジボワールのカカオ豆やエチオピアのコーヒー豆のように、特定の製品の輸出に依存する経済からの脱却を目指すアフリカの国々が取り組んでいる、将来に向けた対策としてふさわしいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- 外国からの投資を制限し、伝統的な農業のみに専念する自給自足体制を構築する。
 - 農産物の加工や工業化を進め、産業の多角化を図る。
 - 国際価格が下落した際に、すべての輸出を停止して国内在庫を増やす。
 - 輸出する品目の種類をさらに絞り込み、特定の資源の生産効率を最大化する。
- 問6 アフリカ大陸を北端から南端まで移動したと仮定した場合、観察される気候帯の変化を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 北端から南端まで一貫して降水量の多い温帯が続き、大陸内部に砂漠や乾燥した地域は見られない。
 - 大陸の全域が熱帯に属しており、どの地域に移動しても密林や草原が広がる景観に変化はない。
 - 北端の寒帯から始まり、南下するにつれて徐々に気温が上がり続け、南端で最も気温が高い熱帯となる。
 - 北端の温帯から始まり、サハラ砂漠の乾燥帯、赤道付近の熱帯を経て、再び乾燥帯、南端の温帯へと変化する。
- 問7 アフリカ大陸の北端にあたる地中海沿岸地域では、夏は高温で乾燥し、冬に一定の降水がある気候の特色を活かした農業が行われています。夏には乾燥に強いオリーブやブドウなどの樹木作物を育て、冬には小麦を栽培するこの農業の名称を何といいますか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- 焼畑農業
 - プランテーション
 - 地中海式農業
 - オアシス農業
- 問8 アフリカの国々で見られるプランテーションと呼ばれる農園について、その歴史的背景や産業上の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- 大都市の周辺に位置し、新鮮な野菜や果物を消費地に向けて効率的に生産・供給する農業である。
 - 独立後の食料不足を解消するために、自国消費用の穀物を育てることを主目的とした小規模な農地である。
 - 森林を焼き、その灰を肥料として利用しながら数年ごとに栽培場所を移動する伝統的な農業形態である。
 - かつての植民地支配のもとで、特定の農作物を輸出するために大規模に開発された農園である。
- 問9 1950年から2100年までの世界各地の人口変化と将来予測に関する統計において、1950年に約2.2億人であった人口が、2050年には約24.8億人、2100年には約42.8億人に達すると予測され、他の州を上回る圧倒的な伸びを示している地域はどこですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- ヨーロッパ州
 - 南アメリカ州
 - アジア州
 - アフリカ州
- 問10 アフリカのナイジェリア付近の都市における気象データでは、月平均気温が年間を通して約26度前後で安定している一方、4月から10月までは降水量が多く、11月から3月までは極端に雨が少なくなります。このような気候的特徴を持つ地域に広がる景観の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- 乾季の影響で樹木が密集できず、背の高い草の草原に低木が混じる景観。
 - 降水量が極めて少なく植物の成長が困難なため、砂や岩石が露出した景観。
 - 夏が短く冬の寒さが厳しいため、エゾマツなどの針葉樹が広がる景観。
 - 一年中高温多湿であるため、多種類の常緑広葉樹がうっそうと茂る景観。
- 問11 日本の標準時子午線(東経135度)を基準としたとき、東経30度付近に位置するアフリカ東部の地域と、他の地域との時差の関係を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
- アフリカ東部と日本との経度差は約105度であり、本初子午線が通るヨーロッパや、西半球にあるアメリカ大陸の地域よりも日本との時差は小さい。
 - アフリカ東部は赤道に近い低緯度地域であるため、高緯度にあるヨーロッパやアメリカ大陸の地域よりも、経度による時差の影響を強く受ける。
 - アフリカ東部は本初子午線から東に離れているため、東経135度の日本との経度差は、西経100度付近のアメリカ大陸の地域よりも大きくなる。
 - アフリカ東部は日本と同じ東半球に位置しているため、緯度に関わらず、西経の地域よりも日本との時差は必ず大きくなる。